

夜道を照らして、防犯対策

◎鬼北町防犯街路灯贈呈式

四国電力㈱からLED街路灯の寄贈



10月26日、鬼北町役場応接室で「鬼北町防犯街路灯贈呈式」が行われました。地域交流活動を通し、親近感や信頼感の醸成を図ることを目的として、10月を「よんでんグループふれあい月間」と定め、清掃活動や電気設備の安全点検など、さまざまな活動に取り組んでいる四国電力株式会社。その取り組みの一環である「社会貢献設備(防犯街路灯等)の寄贈」として、当町へLED街路灯が2灯寄贈されました。寄贈された街路灯は、街路灯未設置場所へ新設され、安全・安心なまちづくりのために活用されます。

独創的な作品の数々が一堂に集結

◎第13回きほく作品展

個性豊かな作品の数々



「第13回きほく作品展」は10月19日から22日までの間、中央公民館で開催されました。会場には、町内各保育所、小中学校や老人クラブ各支部、そして各種文化団体等による力作を多数展示。絵画、工作、書道、写真、手芸など、さまざまな分野の個性溢れる作品が一堂に集結しました。手の込んだ完成度の高い作品から、自然と目を細めてしまうような、子どもたちの可愛らしい作品など、幅広い年代の方の作品を堪能できるのがこの作品展の魅力。来場した人たちは、一つ一つの作品をじっくりと見て回っていました。

鬼北ならではの秋の味覚を堪能

◎秋の大収穫祭&ゆずまつり

ゆず搾りゲームとプロレスの様子



「秋の大収穫祭&ゆずまつり」は11月3日、道の駅日吉夢産地で行われました。会場では、鬼北町の特産品であるゆずをはじめ、季節の野菜や果物の販売、野菜釣りなどを実施。また、毎年恒例の「ゆず搾りゲーム」では、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人たちが参加。参加者たちは、必死の形相でゆずを搾り、その搾り汁の量を競い合っていました。また、今年は何年初のご当地プロレス団体「愛媛プロレス」が、路上プロレスバトルを開催。来場者の目の前で繰り広げられる白熱した試合展開で、会場を盛り上げていました。

共感することで相手の支えになる

◎子どもたちのための人権集会

優しい歌声を披露する杉山氏



10月27日、広見中学校体育館で「子どもたちのための人権集会」が開催されました。今年、魂のヴォーカリスト・杉山裕太郎氏を講師に迎え、「絆〜どん底の中で見つけたヒカリ〜」と題して講演を実施。杉山氏は、非行に走り薬物乱用に陥った人生のどん底から這い上がった自身の半生や、薬物の恐ろしさなどを、歌を交えながら語りました。また、杉山氏は「後悔ほど辛いものはない」と話し、「夢を持って、やりたいことをやってほしい。また、周りに困っている人がいたら、相手の気持ちに共感し、支えられる人になってほしい」と、子どもたちに訴えました。